

ACOLS ニュース No. 156

質量顕微鏡 iMScope および質量分析装置 LCMS-8050 搬入のお知らせ

平素よりお世話になっております。

ACOLS ニュース No. 154 でもお知らせしております通り、生命科学機器分析部において、質量顕微鏡 iMScope および質量分析装置 LCMS-8050（いずれも島津製作所製）が導入されます。このたび、これらの装置の搬入日時等が決定しましたので、お知らせ致します。

搬入日時： 平成 26 年 1 月 27 日（月）9:00～

搬入場所： 霞総合研究棟 112 号室（2 台とも）

搬入作業中は霞総合研究棟 1 階において騒音や振動などが発生することが予想されますので、あらかじめご留意ください。また、112 号室においては 2 台の設置およびセットアップ作業が続けて行われるため、当日は 112 号室に設置してある機器の共用を一時的に停止させていただきます。

一時共用停止となるのは下記の 4 機器です：

- ・タンパク質核酸自動分離装置 QIAcube
- ・卓上遠心機 Avanti30
- ・液体クロマトグラフ AKTAexplorer 10S
- ・オートクレーブ LSX-500

なお、112 号室では翌日以降もセットアップ作業が行われる予定になっておりますが、上記 4 機器はご利用いただけます。もし、再度一時共用停止が必要となる場合には、その都度ご連絡致します。

セットアップの完了まで、LCMS-8050 が約 1 週間、iMScope が約 3 週間かかるとのことです。それまでご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。

ご不明な点などがございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

<連絡先>

自然科学研究支援開発センター 生命科学機器分析部

霞総合研究棟 107 号室（担当：原田・勝谷） 内線：（霞）6869・6170

E-mail： [acols@hiroshima-u.ac.jp](mailto:acols@hiroshima-u.ac.jp)

HP： <http://home.hiroshima-u.ac.jp/acols/>

追記：当施設を少しでもご利用いただき作成された論文には、「謝辞」に当施設利用の旨を記載していただきたく存じます（謝辞例文：This work was carried out at the Analysis Center of Life Science, Natural Science Center for Basic Research and Development, Hiroshima University.）。さらに、実績として役立たせていただくため、別刷 1 部（コピーや pdf ファイルでも結構です）を当施設にご提供いただければ幸いです。